

# SSKO

Drug Addiction Rehabilitation Center

## DARC

# Grow up!!

栃木ダルク

ニュースレター 第72号(2009, 4, 20)

### 那須の現状

那須TC 長谷川貴則

1月に入り暖かい日が続くようになり、外でのプログラムが多く出来るようになり喜んでおりますが皆さんにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今日も天気の良いものですから普段と違う道を通り景色を楽しみながら通勤してきました。

那須では3月の後半から施設を出て行く仲間が増えましたが、逆に底着きをして戻ってくる仲間や新たに入寮する仲間が増えてきています。

暖かくなってくると自分たちでは気づいていないようですが、そわそわしたり急に外のことが気になるのは毎年起こる現象のような感じがします。



那須が開設してから6年がたち消耗品である車が常に不安を抱えての走りです。

毎日のプログラム、ミーティングへの参加に酷使しているからだと思っていますが3月に中古で1台買い替えましたが、栃木ダルク全体では人数が増えたためにもう、1台の購入も考えていたところに、近所の方からワゴン車の献品がありました。施設を開設した当初にボランティアでお手伝いしたことのあるかたでした。現状、使っている車より程度がよくて大変感謝しております。

プログラムのほうでは那須で行っているカホンが4月に発表する場が与えられました。

冬のチャリティーコンサートが終わってからは練習ばかりで成果を見せる場所がなく、モチベーションもあがりませんでした。4月に決まってからは自主練も力が入るようになってきていました。カホンプログラムが始まった当初から比べるとやる気が格段に上がっているように感じています。

カホンは材料を買ってきて自分達で作ることから始めるという話をしていたら知り合いの方が檜をくれるというのでチェーンソーで切りに行ってきました。

普段、使ったことのない道具なので悪戦苦闘しながら何とか倒し材料をGETしました。

今までは2人で1台のカホンでしたが台数を増やして1人1台に出来るようにしていきたいと思います。



もう1つはメンバーの傾向が変わってきたことです。

平均年齢が上がり、アルコール依存症の人たちが増えてきています。

現在入寮中の内訳はアルコールが6割、覚せい剤が3割、その他一割と言うのが現状です。

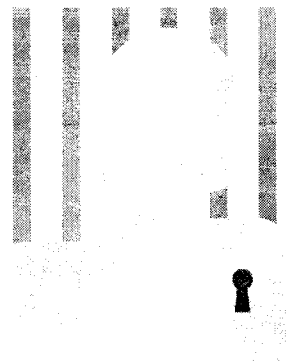
詳しい内訳などはデータがそろい次第、ニュースレターに掲載したいと思っています。

て考えると、過去の生き方や考え方に全く決別できず、駄目になったら周囲の人（特に両親や姉）に依存して、また薬物に溺れた生活をしようとする自分の人生を放棄していたんだと思います。

そんな僕に転機が訪れたのは、那須の初期施設から宇都宮の社会復帰施設への移動でした。那須で一緒に薬物を使い、共依存の関係にあった仲間と別れ、宇都宮での新しい生活が始まりました。始めのうちは不健全な行動で責任者を怒らせたり、仲間とぶつかったりしたんですが、時が経つにつれて段々と宇都宮でのプログラムを真剣に行うようになりました。那須の施設で行っていた断薬に重点をおいたプログラムを自分のために使えていなかった自分には大変ですが、自立した時に起こるであろう問題への対処の仕方を考え模索していくものや、僕に特に欠けている社会性を身に付けるなどの社会復帰をベースにおいたプログラムが宇都宮では多く、特に盲導犬センターでのボランティアは社会で一般に生活している人達とも触れ合い交流ができ、いずれ社会での自立を目標にしている僕にとってかなり役立っていると感じているし、何よりも動物に優しく接することが出来る自分を発見して、自分もまだまだ捨てたもんじゃないと思えるのは、自己肯定感を上げる材料にもなっています。（薬物に狂って実家にいた時は飼っていた犬のケビンに優しくなんて全然出来なかったですから）。

そして、死を渴望していた自分も薄らいでいって、もう一度やり直してみたいという気持ちが湧いてくるようになったのも事実です。なぜそういう心境になったかは自分でも明確には答えられませんが、あれだけ止まらなかった薬物使用が1年ちょっと止まり、施設にも居続けている事実も残っています。（施設の仲間はみんな奇跡だといいます（^^）けど・・・）

まだまだこれからも色々な困難や苦難が待ち受けているとは思いますが、ちょっとの事ではへこたれずに、ちゃんと自分の問題と向き合って解決して行き、Easy, does it（あせらずにやろう）の精神で、自分の人生を有意義なものにしていきたいと思っています。



### 3,4 月予定表

- 4月19日 宇都宮家族会
- 4月19日 盲導犬センターバザー
- 4月22日 黒羽刑務所覚醒剤教育
- 4月24日 喜連川刑務所覚醒剤教育
- 5月1日 喜連川刑務所覚醒剤教育
- 5月2日 精神保健福祉士公演
- 5月12日 アルコール関連問題研究会



那須町の広報誌がカホン取材に来ました



盲導犬センターにて

盲導犬センターバザーにて

### プレハブ・コンテナハウスのお願い

2月に引っ越しをして、今の施設に移転しました。少し小さめになったので、定員は4名ほど少ない20名になりました。移転当初のメンバーは16名ほどだったので問題はなかったのですが、季節がら入寮してくるメンバーが増えています。今後もまだ待機しているメンバーもいるので増加が見込まれ、定員数を増やすには施設内にある事務所を外に出すほかありません。10畳ほどのスペースが必要です。借りている場所なので後ほど撤去しやすいものが良いです。

使っていないコンテナハウスかプレハブがありましたら譲って頂けるとありがたいです。また安価の情報がありましたら、お知らせ頂ければと思います。

毎度のお願いですが、よろしく願いいたします。

### 3月献金を下さった方々

箕輪隆光様、青木久子様、板橋英秋様、真野高弘様  
富岡トリック教会様、菜の花家族会様  
匿名5名様

### 3月献品を下さった方々

毛塚祐一様、野尻直売所 池田様、トリック松が峰教会様  
水井清次様、  
匿名5名様

編集

NPO 栃木DARC

〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com>

Eメール: [nesm@t-darc.com](mailto:nesm@t-darc.com)

発行所

郵便番号一五七一〇〇七三 東京都世田谷区砧六一二六―二二  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円